



川根茶を味わう秋の祭典 「第15回 川根時間」開催!

来場者へ受賞茶の特徴を説明する相藤直紀さん

「第15回 川根時間」(同実行委員会主催)が、道の駅「フォーレなかかわね茶茗館」と、町内の5会場で開催されました。

茶茗館では、令和7年全国茶品評会普通煎茶4[※]の部で農林水産大臣賞を受賞した相藤農園の相藤直紀さんが、来場者に受賞茶を振る舞いました。また、お茶にまつわる落語の公演や、多種多様なお茶の飲み比べなどが行われ、来場者は川根茶の魅力を存分に楽しんでいました。

町内の5会場でも、それぞれ自慢のお茶が来場者に振る舞われました。今回は、その内3つの会場の様子をご紹介します。



さまざまな品種のお茶を
飲み比べる参加者



相藤園

古民家を改装した落ち着いた空間で、生産者からお茶のいれ方を教わりながら楽しむ参加者の姿が見られました。一煎目のうま味が凝縮されたお茶を口にし、参加者は自然と笑顔になっていました。



山香荘茶園

店舗隣にある古民家の縁側で、古来の農法・製茶法で作られたお茶が振る舞われました。参加者は、のんびりとした雰囲気の中、縁側からの景色をゆったり眺めながら味わっていました。



SATOMI製茶 茶房～兆～

高台にあるテラスからは、大井川や周囲の山々など、雄大な景色を一望できます。来場者は、店主との会話を楽しみながら、落ち着いた雰囲気の中でお茶を堪能していました。